

奥会津 だより

2003年冬
第21号

雪と暮らす



納豆の藁づとを編む

納豆

納豆

どこさ行く

糸引き沢さ

糸引きに行く

柳津町UJUN歌

奥会津つれづれ

奥会津では、長い冬の前に冬籠りの準備をする。

まずは食料の保存だ。干し柿、たくわん漬けにする大根干しなど、どれも太陽の柔らかい光と、乾燥した風によって、保存の利く食材となる。

それから家の外の一角に大根ニョウを作る。収穫した野菜が、冬の寒さで凍みてしまわないように、一本ずつ積み上げていき、藁でまわりを囲む。そうして冬の間、雪を掘り起こして大根や人参、ごぼうなどを取り出し食卓に並ぶのだ。

私は大根ニョウを作ったことが一度もない。いつも雪が降る前に父や母が作る。冬によく食べる打ち豆も、夜になると、母が木槌で打っているのを聞いているだけだ。

高校三年の時、担任からクラス全員に、自分の好きなものを書くように紙が配られた。食べ物でも映画でも、何でもいいから、と。私も色々書いた。好きな映画や俳優、歌。その中で「冬の夜」と書いたことを今でも覚えている。

私は冬の夜がとても好きだ。

ピンと刺すように張った空気が、降る雪のしんしんという音にならない音。降り止んだ後の家も山も木も、別の生き物のような丸みを持つ。そして家の中からは、暖をとりながらの豆を打つ音が時折聞こえてくる。そんな冬の夜が好きだ。

こぶし館

- 営業時間：10:00~17:30
- 休館日：年末年始のみ
(12/29~1/4まで)
- 大沼郡金山町大字中川
字上居平949-1
- Tel. 0241-55-3334
- Fax. 0241-55-3023



民俗資料館

金山町の昔を伝えることはこぶし館の重要な目的のひとつ。常設展示と年に数回の企画展が、昔と今を繋いでいる。



金山町の物産を並べたエントランス

桐、藍染、ザルなどの手づくり品、漬物、アカハラ、山菜など、バラエティにとんだ品々が展示即売されている。町の方々の丹精が伝わってくる。



五十島家住宅

18世紀以前に建てられた農家を移築してある。当時の農家の暮らしが偲ばれる佇まいだ。

金山のことなら何を尋ねられても答えられるように、観光、史跡、釣り、撮影などのスポットや歴史など、みんなで勉強しています。私たちが確かに手渡せるのは「真心」ですから。



奥 支配人

アザキ大根の花の海

紫の花が一面の海になる5月の野原。辛味が強く繊維の多い大根は、食糧難の時でさえ食用にはならなかった。作付けの邪魔になるばかりの野生種をソバの葉味として重用したのはこぶし館がはじめて。町の古老も「昔からあったなあ」と、その来歴は古い。



地産地消の草分け 野生種・アザキ大根が主役

こぶし館は金山町の顔だ。地元産の農産物を使った食の提供をコンセプトとして平成4年に開設されて以来、地域活性化センターとして町の人々の暮らしを豊かに繋ぎ合わせ、

それにも増して内外との交流拠点として金山町随一の存在感を誇っている。アザキ大根高遠ソバをはじめ、農産物や手づくりの品々などを楽しみにここを訪れるリピーターも多い。



奥会津
とっておきの
風景

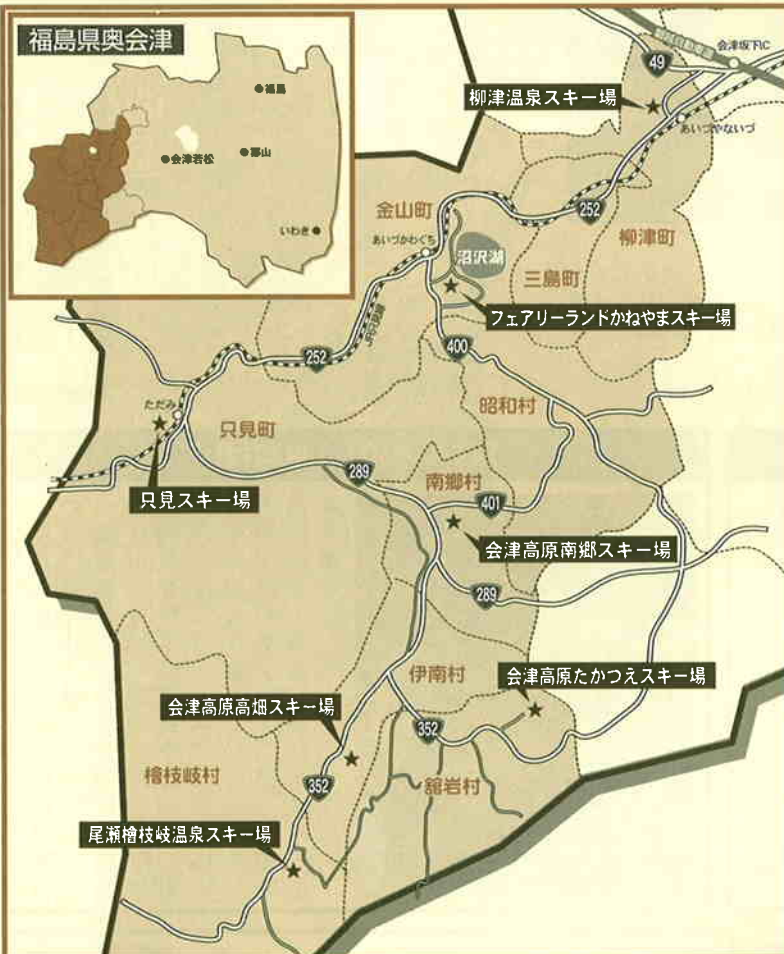


冬囲い (南郷村)

雪の国に欠かせない冬籠りの準備は、雪から家を守るために周囲に巡らす垣づくり。冬囲いは、長い冬の押しつぶされるような心象徴するかのようには太陽の光を遮断する。この作業が終わると、いよいよ肝を据えて雪を迎え入れる覚悟も整うのだ。やがて地面はどこまでも白く覆い尽くされる。白き神々の世界だ。



写真：南郷村鴉巣



奥会津の観光スポット シーズン到来! スキー場情報

ペアリフト券プレゼント!

■フェアリーランドかねやまスキー場■
★リフト一日券 ペアで5組
—応募先—
〒968-0012大沼郡金山町大字小栗山字上野
フェアリーランドかねやまスキー場
奥会津だよりプレゼント係



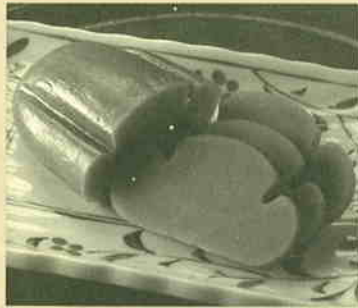
■会津高原南郷スキー場■
★リフト一日券 ペアで5組
—応募先—
〒967-0631南会津郡南郷村大字堺字湯の入293
会津高原南郷スキー場 奥会津だよりプレゼント係

プレゼントの応募方法
応募締切12月25日(木)必着。
官製ハガキに住所、氏名、電話番号を明記の上、各スキー場へご応募ください。発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

所在地	名称	オープン日	料金	問い合わせ
柳津町	柳津温泉スキー場	12/23(火)	一日券 / 大人¥2,600 小人¥1,800 リフト券 / 大人¥1,300 小人¥1,200	TEL 0241-42-2245
金山町	フェアリーランドかねやまスキー場	12/20(土)	(平日) 大人¥3,000 小人¥2,000 一日券 (休日) 大人¥3,500 小人¥2,500	TEL 0241-54-2022
只見町	只見スキー場	12/20(土)	一日券 / 大人¥2,800 小人¥1,200	TEL 0241-82-2304
南郷村	会津高原南郷スキー場	12/20(土)	(平日) 大人¥3,000 小人¥1,900 一日券 (休日) 大人¥4,000 小人¥2,500	TEL 0241-73-2111
伊南村	会津高原高畑スキー場	12/19(金)	一日券 / 大人¥3,800 小人¥2,300	TEL 0241-76-2231
舘岩村	会津高原たかつえスキー場	12/13(土)	一日券 / 大人¥4,200 小人¥3,200 リフト券 / 大人¥2,000 小人¥1,500	TEL 0241-78-2220
檜枝岐村	檜枝岐温泉スキー場	12/20(土)	一日券 / 大人¥2,500 小人¥2,000 *12/20~1/18 毎日営業 *1/19~3/12 土日祝のみ営業 *3/13~3/28 毎日営業	TEL 0241-75-2351

●山椒ゆべし

金山町に伝わる祝いの菓子。かつて祝言の膳には白いかまぼこと併せて紅白の松を表現して、祝いの気持ちを含めた。今でも正月には用意して年始客をもてなす習いが残っている。山椒はからだをあたためる効用があり、これを食べると冬の厳しさを健やかに凌ぎ、風邪をひかないといわれてきた。



作り方
秋に採った山椒の実を挽き、もち米とうるち米の粉に混ぜて練り、味をつけて蒸し上げる。切り口が松の形になるように、ハシなどで形を整える。

●ひっけえ

“ひっかえ”が“ひっかえ”になり“ひっけえ”となった吸い物で、ハレの日の膳の汁物として二番目に登場する。汁だけ飲んで、中は持ち帰るのが本式。家族へのお土産にもなった。

アカハラ、厚揚げ、ニンジン、長ネギ、マイタケ…。いずれも挽からはみ出すほどの大胆な大きさに、汁物というよりは煮物に近い。その昔、具が大きいのは「ごっつお」だったからだ。素朴でコックリとした味わい。



作り方
アカハラで出汁をとり、やわらかなネギは青みを活かすために、別茹でしたものを最後に添える。

博物館・美術館めぐり 三島町交流センター山びい(三島町)



ギャラリーと多目的ホールを併設した施設は、一年を通して各種企画展を行っている。ジャンルを超えた様々な企画展示や、各種コンサート。同施設内「食彩房」では食事体験と複合的に楽しめる。

「阿部晃司可能展」開催中

◎12月23日(火)まで

◎休館日…毎月曜(月曜が祝祭日の場合はその翌日)、年末年始

◎観覧料…一般300円

奥会津カヌーツアー (金山町)



10月4日(土)と5日(日)の二日間、金山町の沼沢湖で今年最後のカヌーイベントが、首都圏からの参加者を中心に40名ほどで行われた。乗り方を学んだあと、二日目は沼沢湖でツーリング。スタッフは今年度の講習会参加者。ツアーの最後はスタッフと参加者で昼食を囲みながら交流を深めていた。

「森の学校」(昭和村)



10月5日(日)、昭和村と田島町の境にある駒止湿原で「森の学校」が開催された。参加者がブナ苗木の採取を行い、荒地となった部分に約500本の植栽を行った。苗木が立派なブナの木になるのは100年近くかかるという。参加した親子連れやグループは、秋晴れの空の下、未来に願いを込めて苗木を植えていた。

いべんと告知板

水の郷ただみ ウィンターフェスタ開催!

只見町で、スキー・スノーボードを満喫しながら、このプラン限定でコテージに宿泊することができます。ご家族やお友達で遊びに来ませんか。

《場所》

只見町青少年旅行村いこの森コテージ
《日時》平成15年12月21日(日)から
12月23日(祝)の3日間

☆2泊3日もしくは1泊2日の
プランで利用可能

《宿泊料金》

2泊3日の場合 お一人様12800円
1泊2日の場合 お一人様7900円

☆未就学児の料金は無料となります。

☆なお、お食事料金は含まれておりません。

《利用人数》

コテージ1棟につき1名から5名まで
(全部で6棟利用できます)

《電話予約》 ☎0241・82・2432

おたより

奥会津だより20号の表題「恵みへの感謝」刈り上げ餅の写真は、なかなか実感が出ていてとても良いと思われました。奥会津だよりを届けていただいていたからは、奥会津もなんとなく近くなった感じがします。

福島県白河市 近藤様

お手紙ありがとうございました。これからも奥会津の魅力をもっと多くの方に知っていただけたらよいな奥会津だよりをつくっていきたく思います。

表紙の言葉

暮れも押し詰まった頃、つと納豆を作る家々では、黄づとにゆでた大豆を仕込み、コタツなどに入れて発酵を待つ。神棚に捧げる納豆の黄づとは、中央を丁寧に編み込んで荘厳する。これを松の内に食すと風邪を引かないといわれてきた。柳津町には納豆寝せの唄が残っている。